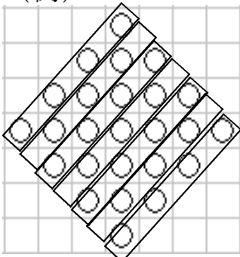
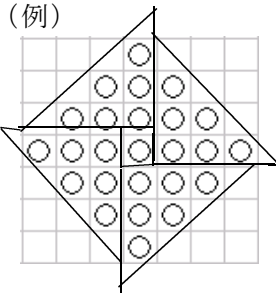
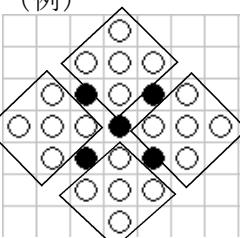
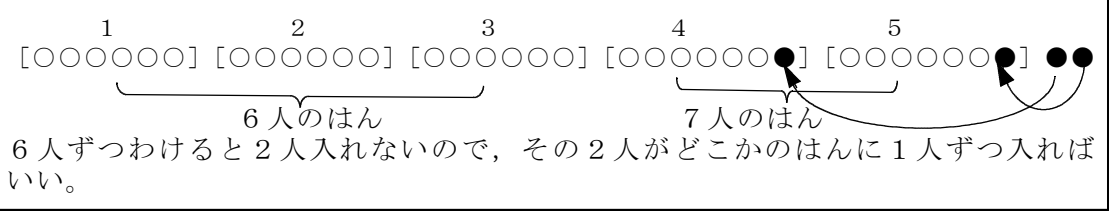
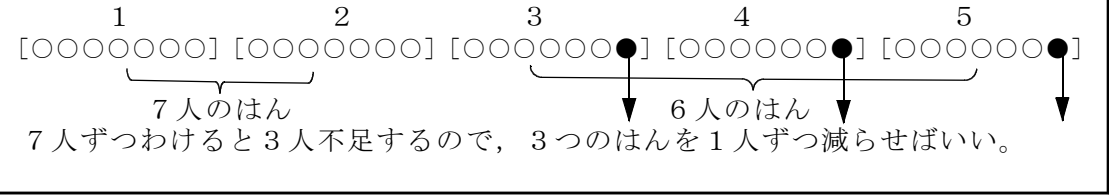


大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
1.0点	(1)	①	知識			4 3	5
	(2)	②	知識			7	5
1.5点	(1)	③	処理			3 8 6 4	5
	(2)	④	処理			3 4 8	5
	(3)	⑤	処理			9	5
5点		⑥	考え	○ 2 5 こ（正しい答えのみ書いている）	2	<div>(例)</div>  <div>図のように4個のまとまりが4つと3個のまとまりが3つで、$4 \times 4 + 3 \times 3 = 25$で求められます。</div>	5
				○ 考えを図にかき入れているが、求め方が不十分である。	3		
				<div>○ 図への記入とそれに対応する説明ができています。 (例)</div>  <div>図のように6個のまとまりが4つと1つ残るので、$6 \times 4 + 1 = 25$で求められます。</div>	3	<div>(例)</div>  <div>図のように5個のまとまりが5つで、$5 \times 5 = 25$で求められます。</div> <div>など</div>	
【授業改善の視点】○の数の求め方を、いくつかのまとまりに分けて、言葉や式などを用いて、筋道を立てて説明し合う活動を工夫する。							
1.0点	(1)	⑦	考え	○ $32 \div 5 = 6$ あまり 2（説明がない）	2	○ 6人ずつわけた場合のあまりや7人ずつわけた場合の不足に注目し、正しい考えや答えを書いている。 (例1) $32 \div 5 = 6$ あまり 2 となるから、7人のはんを2つと6人のはんを3つにすればよい。	5
	○ 6人のはんが3つ、7人のはんが2つできます。（答えのみ書いている）				3		
				<div>(例2)</div>  <div>6人ずつわけると2人入れないので、その2人がどこかのはんに1人ずつ入ればいい。</div>			
				<div>(例3)</div>  <div>7人ずつわけると3人不足するので、3つのはんを1人ずつ減らせばいい。</div>			
	(2)	⑧	処理	○ 3 5 分間（正しい答えのみ書いている）	2	○ 求める式と正しい答えを書いている。 式 $7 \times 5 = 35$ 答え 3 5 分間	5
	○ 7×5 （立式ができている）				3		

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
15点	(1)	⑨	知識	○答えの④だけを書いている。	3	○答えの④と、ぼうの先が巻き尺の0にあわせてあることを書いている。	5
	(2)	⑩	処理	○答えのみ正解 答え 1 m 55 cm (155 cm も可)	3	○式と答えが完答 (式) 1 m 80 cm − 25 cm = 1 m 55 cm または 180 cm − 25 cm = 155 cm 答え 1 m 55 cm (155 cm も可)	5
				○求める式はできているが、答えが不正解 1 m 80 cm − 25 cm または 180 cm − 25 cm	3		
	(3)	⑪	考え	○答えのみ正解 答え 3組	2	○答えと考え方が完答 (答え) 3組 (あなたの考え方) 【例】 布と台がないところのぼうの長さは3組が40 cmで4組が25 cm + 20 cm = 45 cmである。 ぼう全体の長さと台の高さは同じ。 布がないところの長さが短いほど、布のたての長さは長くなるから。 など ※図を使った説明も可 <div><div>3組</div><div>たて40cm</div><div>台</div><div>4組</div><div>たて25cm20cm</div><div>台</div></div>	5
				○答えは合っているが、3組と4組の布と台がないところのぼうの長さを計算しただけで、布のたての長さを比べる理由が十分ではない。	3		
10点	(1)	⑫	処理	○立式が一部できている。 2 dl × 3 = 6 dl ※ 2 × 3 = 6 でも可	2	○式と答えが完答 2 dl × 3 = 6 dl 6 dl × 5 = 30 dl (2 × 3 × 5 = 30 でも可) 10 dl = 1 lなので 30 dl = 3 l 答え 3 l	5
				○答えが正解 答え 3 l	3		
○立式はできているが、答えが不正解 2 dl × 3 = 6 dl 6 dl × 5 = 30 dl ※ 2 × 3 × 5 = 30 も可				3			
	(2)	⑬	関心	○ひろしさんが調べたことをそのまま取り上げて説明している。 (例) 1分間で12 lも使うことになるからです。	3	○ひろしさんが調べたことを使い、歯磨きで使う水のかさを計算で求めたり、何かに置き換えたり比べたりして説明している。 (例) もし2分間みがくと、12 + 12 = 24 (12 × 2 = 24 も可)で、24 lも使うことになるからです。 (例) 1分間で12 lとなり、12 ÷ 2 = 6 だから、ペットボトル6本分使うことになるからです。 など	5
10点	(1)	⑭	処理	2時10分	3	午後2時10分	5
	(2)	⑮	考え	○答えのみ一部正解 答え 3時20分	2	○図に正しく時刻を書き込み、答えが合っている。 (求め方) 【例】 20分 + 10分 + 10分 = 40分 午後4時の40分前は午後3時20分である。 答え 午後3時20分	5
				○答えのみ正解 答え 午後3時20分	3		
				○考え方はよいが、答えが不正解 20分 + 10分 + 10分 = 40分 午後4時 − 40分	3		
○答えは不正解だが、図に午後4時から40分かかのぼったということを表す書き込みがある。				3			
				【授業改善の視点】基準となる時刻からの時間を数直線や図をかいて考えさせるとともに、時間の求め方について、時刻と時間を区別しながら説明し合う活動を工夫する。			

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点										
8	(1)	16	知識			3色	5										
	(2)	17	考え	○「できない」に○をつけている。	2	○できないに○をつけており、かつ適切な理由を書いている。 (例) カと同じ面が1つ多く、ケと同じ面が1つ足りないから。 (例) カと同じ面は全部で2つ、ケと同じ面は4つ必要だから。 など	5										
				○「できない」に○をつけ、かつ理由を書いているが説明が不十分である。 (例) 面が1つたりないから。 (例) 正方形と長方形の面の数がまちがっているから。 など	3												
	(3)	18	関心	○㊸, ㊹, ㊺の中からどれか1つを選び、身のまわりにある箱の形の例を1つ書いている。	3	○㊸, ㊹, ㊺の中からどれか1つを選び、身のまわりにある箱の形の例を2つ書いている。 【㊸, ㊹, ㊺の例】 せっけんの箱, ラップの箱, おもちの箱, つみ木 など	5										
9	(1)	19	処理	○タンバリンか大だいこのどちらかの数を正しく書いている。	3	○タンバリンの数も大だいこの数も正しく書いている。 きぼうしたがつきごとの人数 <table><tr><td>がつき</td><td>タンバリン</td><td>大だいこ</td><td>けんばんハーモニカ</td><td>リコーダー</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>5</td><td>2</td><td>7</td><td>10</td></tr></table>	がつき	タンバリン	大だいこ	けんばんハーモニカ	リコーダー	人数(人)	5	2	7	10	5
	がつき	タンバリン	大だいこ	けんばんハーモニカ	リコーダー												
人数(人)	5	2	7	10													
	(2)	20	考え	○「できる」に○をつけている。 ----- ○「できる」に○をつけて、わけを書いているが不十分である。 ・リコーダーに4人うつってもらおうとよいことだけを書いている。 ・リコーダーが14人になるとよいことだけを書いている。 ・ $7 \times 2 = 14$ という式だけを書いている。 ・ $14 \div 7 = 2$ という式だけを書いている。	2 3	○「できる」に○をつけたうえで、リコーダーの人数が、けんばんハーモニカの人数の2倍にできることを言葉や図、式を使って説明している。 (例) クラスの人数は全部で、 $5 + 2 + 7 + 10 = 24$ 人 タンバリンと大だいこは3人しかできないので、けんばんハーモニカとリコーダーで21人になればよい。 $21 \div 3 = 7$ で、けんばんハーモニカの人数も7人だから、リコーダーの人数が14人となり2倍になる。 (例) リコーダーの人数が14人になると、 $7 \times 2 = 14$ で、リコーダーの人数はけんばんハーモニカの人数の2倍になる。 など	5										
【授業改善の視点】数量の関係を表やグラフに表すだけでなく、作った表やグラフから必要な数量をよみとったり、数量の関係を説明したりする活動を工夫する。																	